

平成20年度上期 電力需給状況

需要の概要

平成20年度上期の販売電力量は、147億6千2百万ワット時、前年比 101.6%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、7月から8月上旬の気温は前年に比べ高めに推移したものの、8月中旬から9月の気温が前年に比べ低めに推移したことなどから、前年比 100.2%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因などから、前年比 99.9%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプなど主要な業種が前年を上回り、前年比 106.6%となった。

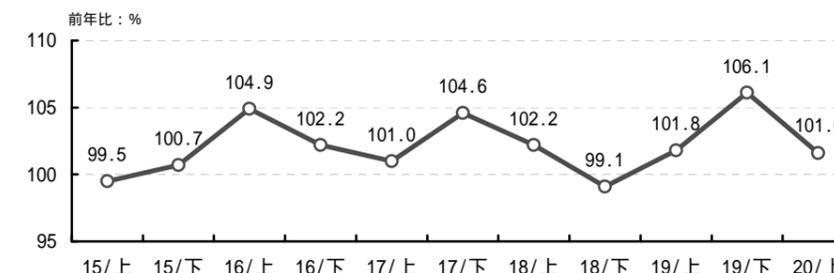
需要実績

(百万ワット時、%)

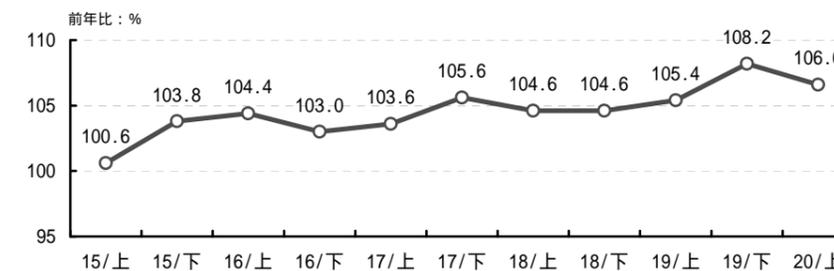
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	4,561	100.2
	電 力	1,012	96.3
	計	5,573	99.5
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	3,408	99.9
	産業用電力	5,781	104.8
	うち大口電力	(4,533)	(106.6)
	計	9,189	102.9
販売電力量 計		14,762	101.6
融 通		3,266	84.3

注：特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万ワット時、%)

	電力量	前年比		
		20/上	19/下	19/上
紙・パルプ	985	117.6	135.3	115.4
化 学	893	106.4	101.1	99.2
鉄 鋼	491	106.7	95.4	110.0
機 械	934	105.2	108.4	102.0
その他	1,230	100.2	101.3	104.7
合 計	4,533	106.6	108.2	105.4

供給の概要

- 原子力は、前年並みの 100.3%となった。
- 水力は、本年より前年が湯水だったことから、前年比 112.2%となった。
- 火力は、融通送電の減などにより、前年比 93.3%となった。

供給実績

(百万ワット時、%)

		電力量	前年比	備 考
原子力	(39)	7,666	100.3	出水率 80.7% (19年度上期出水率 75.0%)
水 力	(9)	1,889	112.2	
火 力	(51)	10,215	93.3	
新エネ	(1)	126	104.0	
発受電計	(100)	19,896	97.6	
その他		199		
供 給 計		19,697	97.5	

注1：新エネにはバイオマス(21百万ワット時)を含む 注2：()内は構成比

(参考3) 4県都平均気温

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	10.6	15.3	19.6	22.6	28.4	28.0	24.9
平年差	1.3	0.7	0.8	0.1	1.9	0.7	1.1
前年差	0.2	0.6	0.0	0.8	2.5	0.8	2.0

(参考4) 各県別の需要状況

(百万ワット時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(102.2)	(100.3)	(102.7)	(100.5)
	3,314	2,394	5,240	3,814

注：()内は前年比